

相模小学校移転に関連する各種資料

1 ツインシティ大神地区まちづくり計画（平成 24 年 4 月）

(1) まちづくりの規模

計画人口（居住人口） 約 3,300 人

(2) 土地利用計画

ゾーン名称	想定される建築物	想定される用途地域・規模
産業系ゾーン 1	生産施設・物流施設・業務施設等	準工業地域 約 26ha
産業系ゾーン 2	研究開発施設・情報通信業務施設等	準工業地域 約 10ha
住居系ゾーン 1	低層住宅・商業施設・業務施設等	第一種住居地域 約 2ha
住居系ゾーン 2	低中層集合住宅・戸建住宅等	第一種住居地域 約 13ha
複合系ゾーン 1	商業施設・業務施設・公共公益施設等	近隣商業地域 約 11ha
複合系ゾーン 2	商業施設・業務施設・公共公益施設・中高層集合住宅等	第二種住居地域 約 6ha

2 相模小学校移転に係る整備方針（平成 25 年 4 月）

(1) ツインシティ大神地区土地区画整理事業計画地区の児童増加数

約 170 人（居住人口 3,300 人×※5.3 パーセント）

※平成 25 年 1 月 1 日現在の平塚市における小学生の児童年齢（6～11 歳）の割合

平成 29 年 1 月 1 日現在は、同割合は 4.99%

3 相模小学校移転基本計画（平成 26 年 4 月）

(1) 前提条件

ア 通学区域の変更

現在の相模小学校通学区域は、大神、吉際及び田村の一部の地区ですが、移転後は、田村地区は全て神田小学校区域に編入すると想定します。

移転後の相模小学校の児童数は、平成 25 年 7 月時点の総児童数 416 人のうち、田村地区居住児童の 110 人を除いた、約 300 人（1 学年約 50 人）を想定しています。

(2) 基本計画

ア 施設規模

平成 25 年 7 月時点の相模小学校の全児童数は 416 人で、そのうち通学区域変更が予測される田村地区の児童は 110 人です。全児童数のこれまでの推移や、大神・吉際地区の人口変化からも、児童数は今後も同等と考えられることから、本計画では約 300 人（1 学年 50 人（2 クラス））の児童を対象に検討します。

また、土地区画整理事業地区の児童の増加数は、居住人口 3,300 人に対し、平成 25 年 1 月 1 日現在の平塚市における小学生の児童年齢（6～11 歳）の割合 5.3%を適用すると、175 人と予測されますので、土地区画整理事業地区の若い世帯の転入により、児童の一時的な増加が生じた際に対応が可能なよう児童数 475 人を想定した施設規模の検討を行います。

4 相模小学校移転整備事業基本設計（平成 29 年 5 月）

(1) 概要

ア 面積

- (ア) 面積 敷地 19,154 m²（予定）、延床約 6,100 m²
- (イ) 学級数 15 学級（各学年 2 学級・特別支援 3 学級）
- (ウ) 児童数 最大 470 人
- (エ) 学級人数 最大 40 人（1・2 年生は 35 人）
- (オ) 特別教室 理科室、図工室、図書室、コンピュータ室、音楽室、家庭科室、生活科室、アリーナ

5 児童生徒数の推移

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	過去最大児童生徒数
相模小	396	385	384	366	379	S56 年度 790
神田小	433	409	417	411	389	S60 年度 1,034
神田中	409	442	431	428	406	S59 年度 1,422